

広報

Public Relations
Makurazaki City

2013 August

8

We LOVE
MAKURAZAKI
育てよう！枕崎を愛する心

広報まくらざき No.664

枕崎



特集

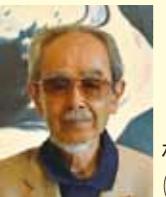
第10回
せ

風の芸術展
~トリエンナーレまくらざき

7月23、24日
「かつお釣り体験アドベンチャー」
<関連記事9ヶ>

野見山 晓治
(のみやま・きょうじ)

東京都在住の洋画家。安井賞や毎日芸術賞など数々の受賞歴を持ち、2000年には文化功労者に選ばれている。東京芸術大学名誉教授。

林 紀一郎
(はやし・きいちろう)

静岡県在住の美術評論家。新潟市美術館館長や池田20世紀美術館館長などを歴任。

金澤 毅
(かなざわ・たけい)

神奈川県在住の美術評論家。元・原美術館副館長。成安造形大学名誉教授。

植松 奎二
(うえまつ・けいじ)

大阪府在住の彫刻家。日本とドイツを拠点に活動をしており、風の芸術展の審査員を今回初めて務めた。

24年目の審査

10回目を迎えた「風の芸術展」。始まってから24年を経ています。経済的な困難により一時、足踏みの破目にも陥りました。数年たって再開されたとき、かつてのような優れた応募者が集まるかと懸念されましたが、どうやら杞憂にすぎなかつたようです。

今回の展覧会を見れば、日常私たちが触れている自然、あるいはそれに付随した現象、ともかく共通の具体的な物象が描かれているので、以前の展覧会よりずっと親しみが持てるのではないかと思います。今まででは油絵具で描かれていた作品がほとんどでしたが、今回はクレパス、鉛筆、布地、新聞紙といった日常性のものが多い。これもまた、今までより身近に訴えてくるはずです。

聞くところによると、今回の「風の芸術展」は多くの方々の寄附で運営されているとか。それに多くの方々のボランティアによって進行しているとか。私はこの展覧会の存続を、有難く思っております。心に豊かな街が育つてゆくのではないか。大事に見守りたいと思います。

今回の受賞作品については、ただ描くことの欲び、表現の新鮮さに満ちております。この心を大事にしてゆけば、この度の受賞は生きるでしょう。その期待を込めて、今後を見守りたいと思います。

受賞作・審査所感

「風の芸術展トリエンナーレまくらざき」が、第10回展を開催実現の運びとなつたことは、慶賀に堪えない。応募者245名、出品点数347点の中から、平面45点、立体25点の、相変らぬ厳選となつた次第だが、入選作全体の質的水準は、過去9回の入選作に比べて遜色はなかつた、と言える。

ただ、今回は飛びぬけて目新しさを感じさせる作品に出会えなかつた。このことだけは率直に申し述べておこう。とは言うものの、受賞作の10点は、さすがに厳選された入選作の中から更に選ばれただけあって、それぞれ個性的な造形表現に訴求力の強さがあつたことも確かである。

今回の特徴として特筆すべきは、平面作品の多くが、既成のキャンバスではなく、各人各様の支持体を作り、絵画の領分をはみでるような造形表現を試みていたこと。これは今回の『風の芸術展』の収穫であったと言えるだろう。

第10回風の芸術展を迎えて

このイベントも今年で第10回を数えることとなつた。思い起こせば1989年夏、当時の田代市長の依頼に応じて初めてこの南薩の地にやってきた我々は、これほど長く続くとは誰も思っていないかつた。しかし、その後曲折を重ねながらも24年に亘つてこの企画を維持し発展させてきたことは、この小さな市にとってたいへんな負担だったに違いない。その結果として、第10回展を迎える今日、これまでに蒔いた種が見事に花を咲かせている例を各地で見ることができるのである。

2日間に亘つて行われた審査会に立ち会つて、入選者の質が24年前とは明かに変わってきたことが感じられた。それは地元に良質の作家が育ちつつあるという実感である。

今回の審査結果を見て、以前に増して鹿児島、九州出身の作家が増加したことに気付き、24年を経て到達したこの現象を、主催者ともども喜ばしく思つてあります。2万3千人の小都市が官民一体となって支えてきたアートプロジェクトは、今後他県への巡回展も含めた更なる進展プログラムを立ち上げて将来に向つて進んで頂きたいと念じておきます。

今回展示された作品群は、見る人々に新たな感動を与えイメージを増幅させたと思います。これからも作家の皆さんのが、新しい発見を試み、新しい意味を持った作品をつくり続けていかれることを願つています。

大賞・準大賞作品

大賞（平面）
<時の波打ちぎわで5-B>
吉富ひろみ（東京都）準大賞（立体）
<大地に旅をする>
福元修一（南九州市）

7月28日から南渕館と薩摩酒造「明治蔵」で開催している「風の芸術展」。展覧会に先立ち、入賞・入選を決める審査会が7月2、3日の2日間、南渕館で行われました。4名の審査員による審査の結果、吉富ひろみさん（東京都）の平面作品「時の波打ちぎわで5-B」が大賞を受賞しました。第10回目となる

今回は、347点（平面268点、立体79点）の応募があり、平面作品45点、立体作品25点の計70点が入賞・入選しました。美術展としての国内の評価も高い「風の芸術展」。作家たちの想いの詰まつた作品をぜひ会場で鑑賞してください。

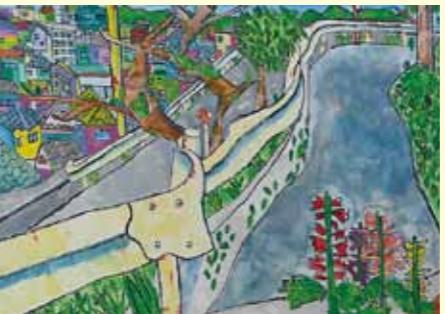
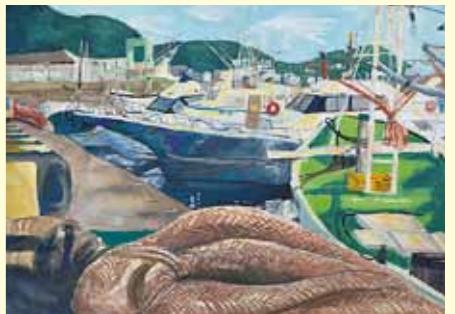


大賞決定！

全国からの応募総数 347点

風まくらざきジュニア展の審査会が7月16日、南渕館で行われました。応募総数1405点の中から入賞26点、入選194点が選ばされました。入賞・入選作品はお魚センター特設会場に展示されています。

風まくらざきジュニア展大賞作品

小学校低学年の部
<サッカー>
山下健斗（枕崎小3年）小学校高学年の部
<自然と景色>
中村彩笑（枕崎小6年）中学生の部
<昼の港>
川邊葵依（枕崎中3年）

市職員採用試験を実施

採用試験

平成25年度枕崎市職員採用

試験を次のとおり実施します。

採用職種、予定人員 及び受験資格

職種	採用予定人員	受験資格
一般事務職	2名程度	①昭和59年4月2日以降に生まれた者 ②高等学校(同等資格を含む。)以上の学歴を有する者 または平成26年3月までに卒業見込みの者 ③採用後は、本市に居住可能な者
土木技師	1名程度	①昭和53年4月2日以降に生まれた者 ②高等学校(同等資格を含む。)以上の学歴を有する者 または平成26年3月までに卒業見込みの者 ③採用後は、本市に居住可能な者
消防士	1名程度	①昭和63年4月2日以降に生まれた者 ②高等学校(同等資格を含む。)以上の学歴を有する者 または平成26年3月までに卒業見込みの者 ③採用後は、本市に居住可能な者

左表のとおりです。

試験の方法及び内容

試験は第1次試験及び第2次試験とし、第2次試験は第1次試験合格者に対する行います。

①第1次試験 教養試験、事務適性試験

(消防士は消防適性試験)、専門試験(土木技師)、体力測定(消防士)、作文試験

面接試験(集団討論、個別面接、健康診査(医療機関発行の健康診断書提出)

り、宛先(申込者住所等)を明記して同封してください。
8月22日(木) 午後5時までに必着のこと
※締切当日消印有効

合格発表

10月中旬までに、受験者全員に合否結果を文書で通知します。

②第2次試験 面接試験(集団討論、個別面接、健康診査(医療機関発行の健康診断書提出)



7月24日、市民会館での語る会の様子

今年もやります! ダイエットコンテスト

健康づくり

本市の現状を開拓しようと、

ダイエットコンテストが今

年も開幕しました。昨年の3人1組の体重部門と体脂肪率部門に今年から「おひとり様部門」を新設しました。

ついての指導も行われました。

ランチ試食会の他にも「自分で作るダイエットめし」や「やせるだけじやためな『メイク&美肌教室』(女性限定)」、

■問合せ 健康センター TEL
727176

「一番やせる? 労働ダイエットも、ひとりでコツコツと頑張るので結構です。健康づくりの第一歩として、ダイエットを始めてみませんか。

仲間と励まし合いながらで

ト農業体験編など、昨年より充実したエントリー特典となっています。

高齢者元気度アップ・ ポイント事業

健康づくり

高齢者の健康づくりや社会参加を応援する「高齢者元気度アップ・ポイント事業」を実施しています。参加者を随時募集していますので、ぜひご参加ください。

市役所福祉課、または健康セントラルで登録を受け付けます。申請は本人しかできませんので、身分証明書と印鑑を持参してください。

65歳以上の枕崎市民(介護保険第1号被保険者)

高齢者の健康づくりや社会参加を応援する「高齢者元気度アップ・ポイント事業」を実施しています。参加者を随時募集していますので、ぜひご参加ください。

市役所福祉課、または健康

セントラルで登録を受け付けます。申請は本人しかできませんので、身分証明書と印鑑を持参してください。

65歳以上の枕崎市民(介護保険第1号被保険者)

高齢者の健康づくりや社会

参加を応援する「高齢者元気度アップ・ポイント事業」を

実施しています。参加者を随

時募集していますので、ぜひ

ご参加ください。

高齢者の健康づくりや社会

参加を応援する「高齢者元気度アップ・ポイント事業」を

実



PROFILE
1944年生。若戸町。高校卒業後上京し、19歳で結婚。1994年に枕崎に夫と義父と帰郷。1998年頃からフランクスを始め、2011年に講師資格を取得。2006年からまくらざきハーモニーネットワーク委員会会長を務め、今年で4期、8年目を迎える。

わが町の を訪ねて ロマネス句

エンターテイナー“ちゃんサネ”さんが枕崎にゆかりのある人を訪ねインタビューし、ようよう一句ひねります。

file.14

人に導かれて 今の自分がある

まくらざきハーモニーネット
ワーク委員会会長

片山 弘子さん (69)

片山弘子さんをよく見かける、いろいろな催しで。ある時は赤いエプロン姿で茶節を振る舞っていたり、ある時は松舞台で色とりどりのワンピース姿でフラダンスを踊っていたり、ある時は合唱団の一員として清楚ないでたちで歌つたり、またある時は「結の会」や「食を考える会」など、さまざまな公共の集会で座っているだけではなく、発言をする。「目立つとどうお、品がよがで」と声を投げかけると「きんこきんごしてるとよが、磨きがかかるてんのよ」と、片山さんは語る、「私の人生はこんな活発なこの街の女性リーダーが『はい、わかりました』型のタイプだったことは意外だった。

片山さんは語る、「私の人生は起きてきたんじゃなくて、常に自分の動機がきっかけのようなものでした。高校を卒業して事務手伝いをしていて、ある日友達の付き添いで職安に行つたつもりが、東京でバスガイドに就職する運びで、結婚したのも、子供たちを育てるうちにいつの間にか父兄の役どころへ就かれていたのも、夫・義父とともに、その意志で私の出元である枕崎へ転居したことや、義父の勧めで、若いうちに数々の国に旅行したことも含めてさまざま転機がそうでした。自我が

「マリンコーラスでね、市民会館のピアノにお世話をうけてるのよ」と片山さんは語る。その思いのままにボランティアで訪れ、多くの人の前でフラダンスを踊り続けている。「響き」の立ち上げ、「響き」の立ち上

礼を受け
礼を返して
(唱)お蔭ん徵づ
美ごつかレイを

げから数年、気がつけば男女共同参画施策の申し子である「まくらざきハーモニーネットワーク委員会」の会長にもなっていました。同委員会は市内8つの女性グループが集まつた総合活動チームである。同委員会の会長にまでなったときもP.T.A役員を引き受けたときもそうだったが、誰もが尻込みする状況でいつも人からの勧めに従つておらず、実に活躍である。

▲2月16日の県下一周駅伝で、茶節と腹皮の唐揚げを振る舞うハーモニーネットワーク委員会。



災害時における電気設備等の 応急対応業務に関する協定を締結



市では、加世田電気工事工業協同組合と「災害時における電気設備等の応急対応業務に関する協定」を7月11日に締結しました。

これにより、大規模災害発生時に市が管理する公共施設などの電気設備等に支障が生じた場合に、同組合が応急業務を行うこととなります。



火の神乙女太鼓爽と関利治さんに 県青少年育成県民会議表彰

青少年育成に関し、地域で特に優れた活動を行なった個人・団体に贈られる平成25年度鹿児島県青少年育成県民会議表彰を、火の神乙女太鼓爽と関利治さんが受賞しました。



火の神乙女太鼓爽は、市内の各種イベントや公民館、施設等での演奏など、地域に根ざした活動を積極的に行ってきました。メンバーの小湊萌未さん(枕崎高3年)は「私たちの活動をもっと知ってもらいたって、たくさんの人々に太鼓に興味を持てもらいたいです」と話していました。



関利治さんは、平成5年から社会教育指導員を務め、平成18年には「金山わんぱく塾」を設立し、地域の恵まれた自然や身近な素材を生かした遊びのほか、地域の高齢者と子ども達との世代間の交流活動など、地域ぐるみの青少年育成にご尽力されました。関さんは「地域社会の為に役立てばいいなと思って活動してきたことが、このような形で表彰されるとは正直、驚いています」と話していました。



災害に備えて地域を確認 ～立神地区災害図上訓練



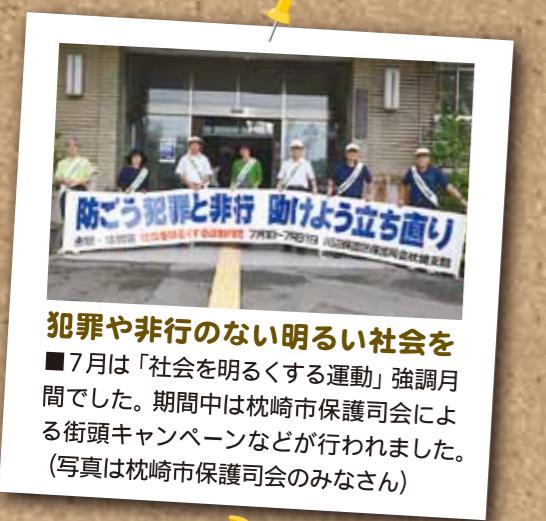
災害図上訓練が7月20日、サンフレッシュ枕崎で実施されました。今回は立神地区を対象とした訓練が行われ、同地区内の自主防災会や消防団、学校関係者など約60名が参加しました。鹿児島県防災アドバイザーの馬渡和男さんの指導のもと、参加者は立神地区的地図を囲みながら、大災害が起こった場合の地域の諸問題を話し合い、地図上に災害情報等の書き込みを行ってきました。関係機関が連携をして、訓練を行うことでより身近で現実的な災害対応を行い、被害の軽減を目指すことを目的に行われる図上訓練は、他の地区でも実施される予定です。



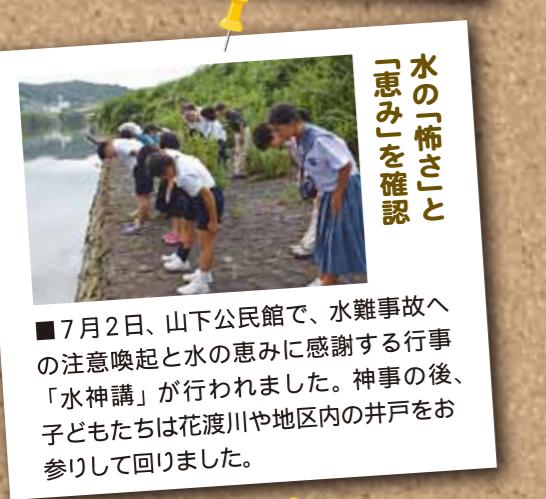
今、思うことを力強く発表 ～枕崎市中学校弁論大会



枕崎市中学校弁論大会が7月2日、市民会館で開催され、市内各中学校の代表8名と、特別参加の高校生3名が発表しました。発表者はそれぞれの思いを力強く発表し、その堂々とした姿に、会場からは大きな拍手が送られていました。最優秀賞には「世界に向かって私は進む」と題し、県青少年国際協力体験事業に参加し、青年海外協力隊の活動を現場で見て感じたことを発表した、篠原莉子さん(桜山中2年)が選ばれました。



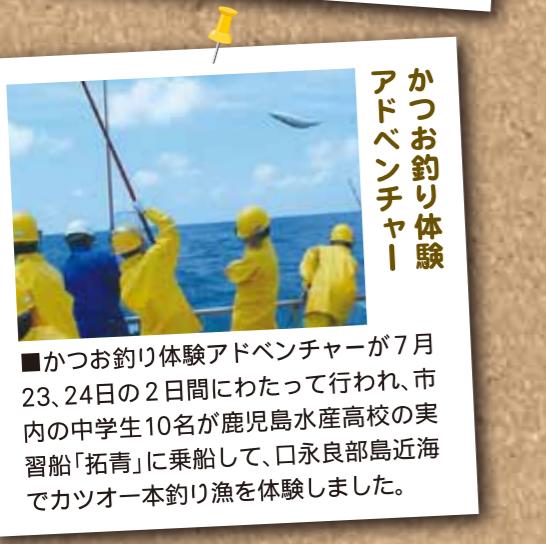
犯罪や非行のない明るい社会を
■7月は「社会を明るくする運動」強調月間でした。期間中は枕崎市保護司会による街頭キャンペーンなどが行われました。
(写真は枕崎市保護司会のみなさん)



■7月2日、山下公民館で、水難事故への注意喚起と水の恵みに感謝する行事、「水神講」が行われました。神事の後、子どもたちは花渡川や地区内の井戸をお参りして回りました。



海の日環境美化活動
■7月15日、恒例の海の日環境美化活動が海岸一帯で行われ、約1200人の市民がボランティアで参加しました。1時間ほどでの作業で約6.7トンのゴミを収集しました。



■かつお釣り体験アドベンチャーが7月23、24日の2日間にわたって行われ、市内の中学生10名が鹿児島水産高校の実習船「拓青」に乗船して、口永良部島近海でカツオ一本釣り漁を体験しました。



100歳おめでとうございます ～地頭菌勝さん（桜木町）

地頭菌勝さんが7月15日、めでたく100歳の誕生日を迎えられ、16日に市と市社会福祉協議会から花束と祝い金が贈されました。

地頭菌勝さんは旧川辺町の出身で、兵役後、瓦屋を始めたことをきっかけに枕崎に住むようになり、90歳頃まで仕事を続けていたそうです。

長寿の秘訣は、くよくよせず、強い意志を持つことだそうです。

これからも、元気で長生きしてください。



①ハイジブランコ ②竹のそうめん流し ③ジャングルドームジム ④遊び橋



馬追川に清流を取り戻そう ～投稿者：清流を取り戻す会 酒匂明彦会長

投稿

清流を取り戻す会のメンバー5人が茅野産業の協力をいただき、6月8日に牧園川の里の清掃を行いました。

清流を取り戻す会は、異臭を放つほど汚れてしまった馬追川を、えびや小魚が豊富に取れていた頃の清流に戻すために、平成23年から川の清掃や浄化啓蒙活動をボランティアで行っています。

今後も川がきれいになるまで活動をしていきたいと思っています。そのための募金を募っていますので、賛同いただける方は、ぜひご協力をお願いします。

先月号の「ほっとホットフォトニュース」で山神剛さんの経験を、誤って「信太航空路監視レーダー事務局長」と掲載していましたが、正しくは「事務所長」です。訂正してお詫び申し上げます。

下園子ども会に優良団体表彰 ～平成25年度南薩地区優良子ども会表彰

南薩地区子ども会大会が6月23日、立神中学校で開催され、下園子ども会が「平成25年度南薩地区優良子ども会」の表彰を受けました。

下園子ども会は、花壇コンクールにおいて数回受賞するなど、花壇作りをとおして地域の美化活動に熱心に取り組んでおり、また、六月灯の灯籠作り、奉納やモモカンドンなどに取り組むなど、伝承活動にも熱心に取り組んでいます。

昨年度は市や地区の子ども会大会において、自分たちの日ごろの活動・実践について発表するなど、他の子ども会の模範となっています。

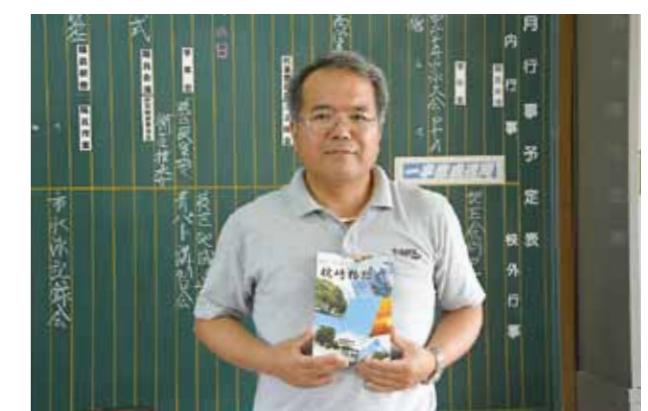


巨大遊具が完成!! ～自然花七夕まつり

NPO法人子育てふれあいグループ自然花が主催する「第4回自然花七夕まつり」が7月7日に開催されました。

恒例となった竹のそうめん流しを始め、万華鏡作りやゴム鉄砲作りなどの体験・遊びがあり、参加した子どもたちは日頃と違った遊びを目一杯楽しみ、最後は花火でフィナーレを迎えるました。

また、同法人が管理する広場に、新たに「ハイジブランコ」などの木製遊具が新設され、「じねんかプレイパーク」のプレオープンイベントも同時に開催されました。今回新設された木製遊具は、国の過疎集落等自立再生緊急対策事業の助成を受けて整備されました。



枕崎の歴史がこの1冊に ～枕崎小学校創立140周年記念「枕崎物語」完成

枕崎小学校の麓純雄校長が枕崎や枕崎小学校の歴史などについて調べ、執筆した「枕崎物語」が完成し、同校全児童や枕崎中学校の生徒などへ配布されました。

「枕崎物語」は麓校長が枕崎小学校へ赴任した3年前から資料集めを始めるなど執筆活動に取り組み、今年度、同校が創立140周年を迎えることもあり、その記念としてPTAと協力し、製本・配布されることになりました。麓校長は「子どもたちに地域の事をもっと知ってほしいと思い、執筆にあたりました。保護者の方々にも懐かしんで欲しいですね。まだ在庫があるので、ぜひ手に取って見て欲しいです。」と話していました。

〒898-8501 枕崎市千代田町27番地
枕崎市役所 総務課 秘書広報係
■ 72-1111(代表) 72-0033(直通)
FAX 72-9436
E-mail koho@city.makurazaki.lg.jp

心配ごと相談	72-7450 (市社会福祉協議会)
法律相談など	※予約が必要です。
心の悩み110番	☎ 0120-055699
学校や家庭での悩みなど	(市青少年育成センター)
消費生活相談	72-1111 (消費生活センター)
消費者の相談窓口	
育児相談	72-7176 (健康センター内)
乳幼児・母子の相談	
家庭児童相談	72-1111 (家庭児童相談室)
家庭教育などの悩み・心配ごと相談	
法律相談・人権相談	83-2208 (知覧法務局)
暮らしの中の様々な法律相談・人権相談	
行政相談	72-5465 (松山智 相談委員)
行政に対する苦情など	

日曜・祝日在宅医

※午前9時～午後5時

指定給水工事当番店

工事店名	日	月	火	水	木	金	土
(株)井上工業 TEL(72)2749			6	7	8	9	10
(株)今給黎建設 TEL(72)6111	11	12	13	14	15	16	17
白沢水道工事店TEL(76)2133 (有)白松水道土木TEL(72)8500	18	19	20	21	22	23	24
(有)萩原工業所 TEL(72)6100	25	26	27	28	29	30	31
長野建設(株) TEL(72)1345	1	2	3	4	5		

納め忘れの税金は早めに納めましょう。
8月の納税 市県民税2期
国民健康保険税3期
介護保険料・後期高齢者医療保険料
税務課管理収納係 TEL (72)1111内線152・153

まちのカレシダー 8月10日～9月15日

いとも最新の年金記録が
確認できます

は、「年金を受け取りながら働き続けた場合の年金額は?」など、ご自身の人生設計に合わせた働き方等の条件にもとづいて、年金額の試算ができます。

「ねんきんネット」のご利用には、ユーザーIDを取得する必要があります。詳しくは日本年金機構のホームページをご覧ください。

また、市役所では、インターネットをご利用になれない方などに代わって「ねんきんネット」から年金記録を印刷してお渡しするサービスを行っていますので、お気軽に立ち寄りください。

人	の	う	ご	き
※平成25年7月1日現在				
鮫島	茶屋道	岩下	小原	田畑
シヅ	正信	ミヱ	スマ	正昭
揚村	恵美子	光男	リヨ	通
新屋敷				
100	66	94	98	62
79	76	85	73	年齢
別府	中央	中央	伊豆	
中町	明和	大塚	新町	岩崎
別府	中央	中央	伊豆	
男性	10,647人	(-9)		
※掲載				

 女性 12,803人 (-8)	希望の あつた 方のみ 掲載 して います。	<small>町</small> 町 中 町 町 町 四 町
 合計 23,450人 (-17)		<small>萩原 松尾 板敷 松尾 新屋敷 吉嶺 町田 白澤</small> <small>クサ タミ ミ工 正龍 道法 繁夏 江徹 猪</small>
 世帯 11,315世帯 (-2)	()内は前月との比較	<small>101 95 89 68 81 90 79 88 8</small>
<small>(敬称略)</small>		<small>平田町 木場町 板敷本町 高見町 明和町 東本町 桜山西町 白沢東町</small>

ご自身の記録に「もれ」があると思われる場合や、亡くなられたご親族の記録にご不明な点がある場合等にご利用いただけます。

※検索結果を年金事務所等の窓口にお持ちいただきと、記録の回復や、すでに受けている年金額への影響などについて調査いたします。

 氏名	うぶごえ
保護者住所	健やかな成長をお祈りいたします。
中木原 瑞寿	小園 晃馳
米原 唯	小園 美智雄
山神 裕仁朗	寿町 寿町
久保 尚	旭町
茅野 幸伸	板敷本町
翔真 奏依	板敷
孝裕 たかひろ	園田 慎也
清孝 かなえ	畠野 浩文
浩一 たけじろう	園田 浩文
桜木町 桜山東町	畠野 真悟
	太樹 塩屋南町
	陽太 旭町
	一花 日之出町
	松山 塩屋南町
	松山 板敷本町
	柴立 蒼大
	知愛 耕介
	小園 美智雄
	寿町 寿町
政	旭町